プチReverseVSTeP

2018/11/22(木) JaSST'18 九州

本日の発表内容

テスト観点のモデリングを核とした テスト開発方法論である「VSTeP」。

その一部である「ReverseVSTeP」を 参考にして社内のテストを少し良く したお話しです。

自己紹介

- 岡崎 晃伸
- ・レスコ品質管理部
- JaSST'18 九州 実行委員



・海好き、コーヒー好きで2児のパパ



昔の社内テストプロセス

開発者

テスト設計

テスター

テスト実行

- 開発視点中心テストの見落し多

今の社内テストプロセス

開発設計をベースに

テスト要求分析

テスター

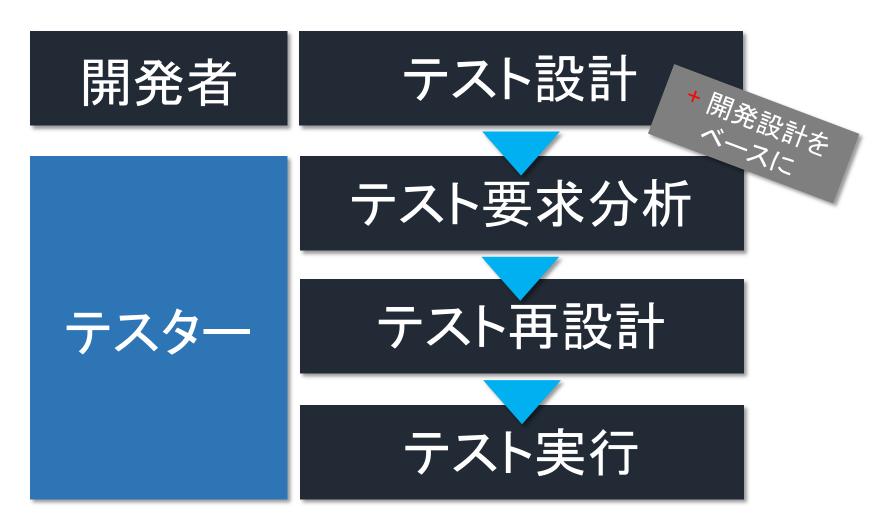
テスト設計

テスト実行

開発者と協力して 多角的な視点で設計 もちろん、 いきなり体制を変えることはできず。 その途中経過があります。



改善途中の社内テストプロセス



今思い返すと開発者に結構失礼だったかも・・・(笑)

改善途中の社内テストプロセス



昔の社内テスト設計

【患者情報の閲覧制限機能】

項目	テストケース	期待結果	
一覧画面Aタイプ 制限設定:ON 閲覧権限:OFF	患者を検索する 患者を選択する	*と表示されること画面遷移しないこと	
一覧画面Bタイプ 制限設定:ON 閲覧権限:OFF	一覧画面Aタイプと同様		
※上記の他気になるところをおねがいします			

昔の社内テスト設計

【患者情報の閲覧制限機能】

	項目	テストケース	期待結果
	一覧画面Aタイプ 制限設定:ON 閲覧権限:OFF	患者を検索する 患者を選択する	*と表示されること画面遷移しないこと
	一覧画面Bタイプ 制限設定:ON 閲覧権限:OFF	_ こち	っをピックアップ
※上記の他気になるところをおねがいします			

とりあえずテスト項目を・・・

図で書いてみる



テストする

患者情報の閲覧制限機能

-覧画面Aタイプ

制限設定:ON

閲覧権限:OFF

テストする画面 や設定条件

患者を検索する

*と表示されること

患者を選択する

テストの 期待結果

テスト

の操作

画面遷移しないこと

患者情報の閲覧制限機能

ちょっと簡略化

一覧画面タイプ

制限設定

閲覧権限

患者検索

「*」表示

患者選択

画面遷移不可

患者情報の閲覧制限機能

一覧画面タイプ

制限設定

閲覧権限

患者検索

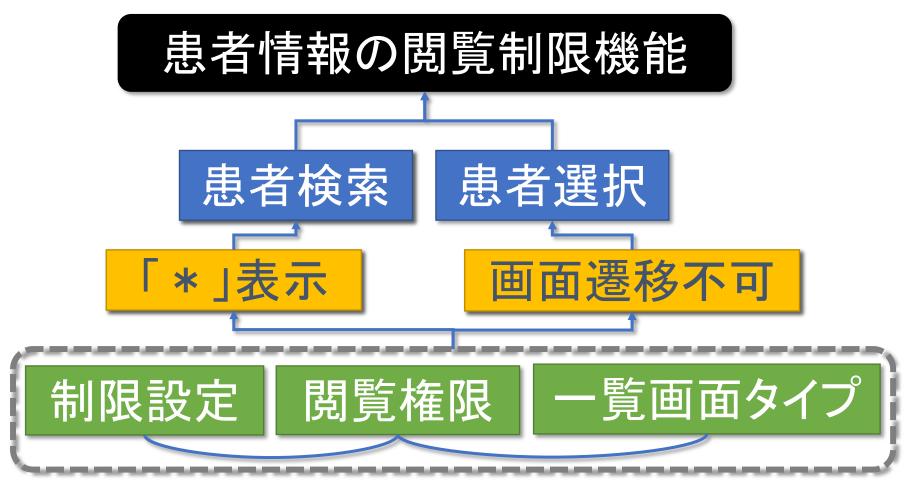
「*」表示

患者選択

画面遷移不可

患者情報の閲覧制限機能

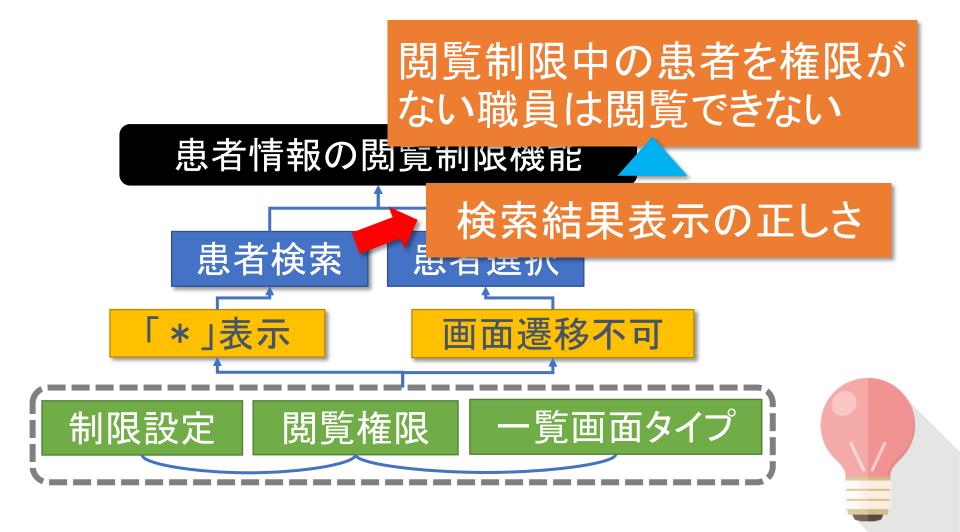
テスト観点をちょっと整理してみる。



何をテストしたいのかを考える

そのテストケースや期待結果は「なぜにそんなテスト がしたいのか」を考えて観 点化してみる

何をテストしたいのかを考える



昔の社内テスト設計

【患者情報の閲覧制限機能】

項目	テストケース	期待結果
一覧画面Aタイプ 制限設定:ON 閲覧権限:OFF	患者を検索する 患者を選択する	*と表示されること画面遷移しないこと
一覧画面Bタイプ 制限設定:ON 閲覧権限:OFF	一覧画面	Aチャぶり

※上記の他気になるところをおねがいします

足りないものを追加する

- ・既出の観点を元に連想してみる
- ・既出の観点にはない観点 を考えてみる

足りないものを追加する

閲覧制限中の 患者を権限が ない職員は閲 覧できない 閲覧制限中の 患者を権限が ある職員は閲 覧できる 閲覧制限<mark>なし</mark> の患者はどの 職員でも閲覧 できる

既出テスト観点から連想してテスト観点を追加してみる

昔の社内テスト設計

【患者情報の閲覧制限機能】

項目	テストケース	期待結果
一覧画面Aタイプ 制限設定:ON 閲覧権限:OFF	患者を検索する 患者を選択する	*と表示されること 画面遷移しないこと
一覧画面Bタイプ 制限設定:ON 閲覧権限:OFF	一覧画面Aタイプと同様	
		-140

※上記の他気になるところをおれ

同様?

同様の観点をまとめる

一覧画面Aタイプと同じなので図に変更なし!

患者情報の閲覧制限機能 患者検索 患者選択 「* |表示 画面遷移不可

制限設定

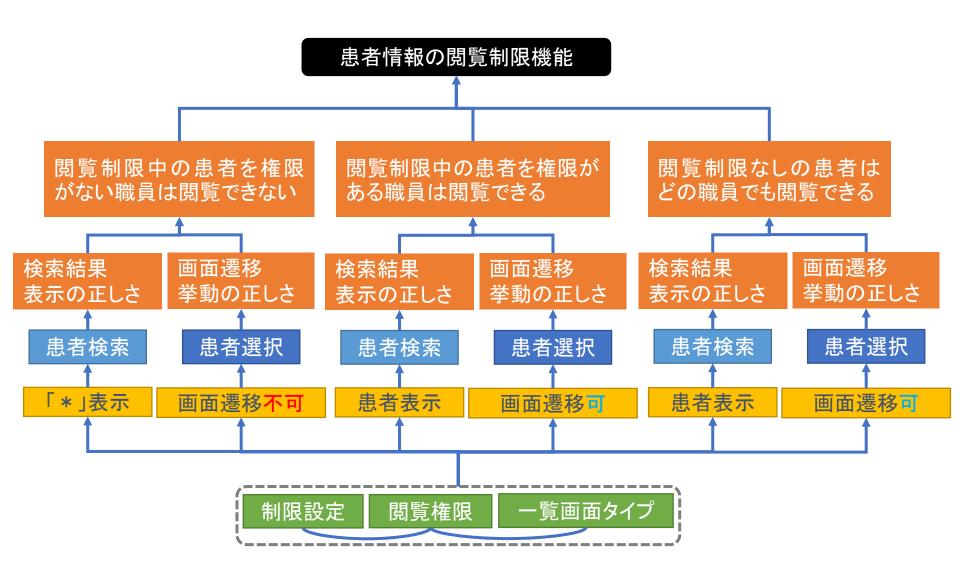
閲覧権限

一覧画面タイプ

同様の観点をまとめる

- 重複した観点をまとめる
- 同じ意味の観点をまとめる
- •粒度をそろえる

テスト観点図の完成



以前より良くなったこと

- 開発者と「必要なテスト」の認識合わせがしやすくなった。
- どんなテストをしようとしているのか頭の整理ができた。
- 後工程のテスト詳細設計をつくりやすくなった。

大事なテストが漏れにくくなり、不具合の市場流出が減った。

まとめ

- 既存のテスト項目を図にする
- 何をテストがしたいのか考える
- 足りないものを追加する
- 同様の観点をまとめる

ボトムアップ式でテスト観点の同値分割する

ReverseVSTeP

多忙なあなた、 できることから小さく適用し続 けてみてはどうでしょうか

ご清聴ありがとうございました